

学校評価項目	【教育理念】 本校では、開学以来変わることなく、技術者として、社会人として優れた人材となる学生の育成を目指し続けています。 その基となるのが、「三心・三共・三学」の理念です。 三心：通いあう心、信じあう心、ひたむきな心 三共：共鳴、共感、共働（協働）の感性 三学：自学、究学、徹学の態度	【教育方針とは】 1. 協働・共学など多様な授業の経験を通して、心豊かで自立（自律）した人材を育成する 1. 実践的な演習・実習により、確かな知識と技術力を持つ人材を育成する 1. 仲間と共に成長し、企業や地域社会に貢献できる人材を育成する	【長期ビジョン】 社会人基礎力と専門性を有し、社会になくてはならない人材を育成し続ける 【中期基本方針：2024～2026】 1. 文部科学省の認定校として、最新の知識、技術、技能を身につけられるよう、実践的かつ本校独自の教育課程を編成し、企業や社会から求められる自立（自律）した人財を育成・支援し続ける。 2. 学生自身が本校で学びたいと思える魅力的な学校運営を目指し、学生獲得に向けた各種施策と収益改善施策を講じ、安定的な学園経営を実践する。
--------	--	---	---

【学校評価の各種活動と実行計画との関連性】

- ①学校の教育理念・目標の定めと具体性 ②学校運営(計画立案・PDCA・諸規程整備) ③教育活動(学科見直し各種評価) ④学修成果(就職率・資格取得・退学軽減) ⑤学生支援(支援体制・健康管理・保護者連携)  
⑥教育環境(施設整備・維持更新・研修などの整備) ⑦学生の受け入れ募集 ⑧財務(財政基盤の安定性・会計監査・奨学金回収等) ⑨法令等の遵守(定期監査・個人情報保護・学校評価)

\*1 達成度評価(計画内容に対する実績): ◎100% ○80% △60% ×50%未満

担分	学校評価・項目	推進項目	具体的な推進計画内容	到達目標(期待される成果)	評価*1	主な実施事項／達成状況など
		No.	No.			
共通	①学校の教育理念・目標 ②学校運営 ⑦学生受入	1 学園の魅力づくり	1 中・長期視点で独自性・差別化内容を企画し学生を獲得する	中期基本方針に基づく中期計画・企画書の策定	◎	教育理念・教育方針に基づく長期ビジョンの確認と2026年度までの中期計画を策定
			2 FY23に更新した機器の最大活用による、学生のスキルアップ・習熟度向上	KPI指標の整備(例:資格取得1件増／第一志望企業への就職率アップ)	○	・正規雇用の採用実績は確保 ・第一志望への就職については継続的に活動を推進
			3 大学等への編入制度の企画・構築・調整	大学との推進計画により進捗管理する	△	2028年度に向けて調整
			4 評価点の低い学校評価項目の改善	学校評価: 3.5point(FY22・FY23) ⇒ 0.2ポイントアップ 3.7Point	○	今期評定=3.55ポイント(昨年比+0.05)
	④学修成果 ⑧財務	2 学校の理念・基本的方針の確立	1 中期計画に基づく施策の具現化と単年度計画の策定・推進	単年度、実行計画の策定・外部公表	◎	計画通り推進
		3 収益改善施策の展開	1 費用削減に向けた効率化・合理化施策の推進と収入増に向けた諸施策の企画・推進	予算目標の達成	○	広告宣伝費用の媒体見直し
		4 退学者の削減	1 学生個別指導・補習授業・学生との定期個別面談を強化・保護者との連携(タイムリーな共有)	目標: 6%以下 チャレンジ目標: 4%以下	△	退学者: 7.9%
	②学校運営 ⑥教育環境 ⑨法令等の遵守	5 違法対応、安全衛生管理活動	1 違法対応、安全(転倒・怪我等の未然防止)を最優先に取り組みする メンタル不調による、退学者を発生させない施策実施	学校医の新設 共通-4の施策と同調	○	・学校医=2025年度から契約を締結
教務部	③教育活動	1 「5年後10年後の会社に"なくてはならない"人材」を目指した育成	1 基礎学力を身に付けさせる ・学生のレベル差に対応できる理解度向上施策に取り組む(ミニテスト・補習) ・自主学習を習慣化し定着させる	追試験件数前年度(0.9件/人)以下、 A評定率前年度(45.7%)以上	△	追試件数: 1.16件/人(昨年0.9件/人) A評定率: 45.5%
			2 チーム力と論理的思考力を向上させる	グループワークを充実し目標達成に役立つ計画力と協調性を身に付けさせる ロジカルシンキングの授業を継続して、物事を論理的に伝える力を身に付けさせる	○	・グループワークを取り入れた授業を継続実施 ・システム開発での要件定義、Web基礎でのHP制作、チームビルディング講座、 仮想会社による製作などグループで協力して成果物を作り発表を実施 ・ロジカルシンキングではディベートを取り入れ授業を継続
	②教える力の向上 (どうやって身に付けさせるか)	1 教職員自身が自分の専門領域を広げる、深堀りする	新規授業の組込み、独自学習、通信教育、セミナー参加、資格取得等に1つ以上取り組む 非常勤講師および自身の授業評価(授業評価アンケートや面談)による実践状況把握と改善	○	・指導力向上に向けて、外部セミナー受講 ・セイコーエプソン主催eラーニング受講	
		2 教える力を磨く・鍛える	常勤/非常勤、学科の枠を超えてお互いの授業を参観して授業方法に改善を加える 授業評価アンケートによる学生満足度を向上させる	○	・学科やカリキュラム毎に教員2名体制でフォロー実施 ・全学生対象にアンケートを継続実施し、アンケートの結果を踏まえ都度改善実施	
教務部（学務）	⑤学生支援	1 学科、学年を越えて交流し、共に感の共有	1 協力し合う人間性の教育と達成感の共有	スポーツ祭、三心祭の準備から実施に至るまで全学生が満足し、達成感を得られる	○	・6月6日: スポーツ祭(岡谷体育館) ・10月4日: 三心祭(校舎内)
			2 ルール、マナーの重要性を授業、集会を通じて教えて実践させる	校則の重大違反なし 授業以外のイベントにおける遅刻・違反欠席者を減らす(1回平均1人以下)	△	・校則の重大違反なし ・各イベントにおける無断欠席は平均して2件未満
	④学修成果	2 学生の資格取得件数の向上	1 資格検定合格の目標値である1人当たり4件以上を達成する	2年間で一人当たりの資格取得件数4件以上を達成する	○	・2年生一人当たりの取得件数=7.7件
			2 学生個人の能力に応じた資格取得を推進。更に上位資格(Bランク以上)への挑戦を促す	10P以上の特別表彰を15名以上出す 特進クラスは全員が卒業までに10P以上取得させる	○	・10P以上の特別表彰者=15名 (30P以上1名、20P台3名、10P台11名) ・特進クラス=10P以上取得済み
就職指導部	④学修成果 ⑤学生支援	1 就職内定率の確保とエプソングループをはじめとした専門性を生かせる企業への就職支援	1 校内ガイダンスの招待企業に加え、校内での会社説明会の実施を拡大。 (新規招致企業の開拓・企業との信頼関係強化)	就職内定率95%以上を確保する	○	・就職内定率: 100%達成(44名)。…5年連続 100%達成 ・就職内定内訳: 正規雇用採用率: 100% …7年連続 100%達成
			2 セイコーエプソン人事部との連携によりエプソン受験者、合格者を増やす。 より早い段階から自由応募検討中の学生の志望度を高め、受験者を増やす。	SEC入社率20%以上を確保する	△	SEG入社人数: 5名(入社率11%)
			3 「自己分析」「職種理解」を基礎に、書類作成や面接力を向上させる。 就活に必要な前向き度、元気度をアップさせるための授業、イベントの実施。 企業側の考え方を理解させ、就活に対し自信を持たせる。	卒業生、企業へのヒアリング、およびカリキュラム・人材像について企業側の要望の聴取を行う (就職活動のためのアドバイス、実態業務と現カリキュラムの比較)	○	・茅野市の企業と連携した企業説明会・会社見学の実施(11/21+2回見学会) ・校内企業ガイダンス=80社を招待(3/3, 5) ・参加企業に対し懇談中に要望確認
入試センター	⑦学生受入	1 講義者数の拡大 および出願者増加に繋がる施策の展開	1 魅力ある学園づくりと連携したPR活動、ホームページからのアクセス者増を狙った企画・調整 ・隣県(山梨・岐阜・新潟)学生募集活動の展開	募集者数の向上	○	・ピックアップ進路相談会を追加実施 ・進路ガイダンスの資料改善
			2 ガイダンス参加の拡大「高校訪問数の増加」と企業とタイアップした新しい企画の試行 ・オープンキャンパス、ミニオープンキャンパスの実施内容・PR方法の見直しによる参加者増	イベント参加者数の向上およびガイダンス参加者数の向上	○	・学校訪問: ほぼ全校巡回 ・オープンキャンパス計画通り実施 ・エリアを絞り込んだターゲティングの実施 ・学生主体のインスタグラムを導入
事務局	⑧財務	1 経費削減・業務の効率化	1 経費全般の見直し ・業務フロー等の見直しによる合理化・効率化推進 (勤怠管理システム/学費・各種支払方法改善)	取り組み項目と目標値の設定(前期)、具体化と効果把握(後期)	○	・LED化による電力使用料金の削減
	①学校の教育理念・目標	2 学校の特色の周知	1 周知方法の改善、ホームページの改善、周知先の開拓 (地方紙・マスメディアの活用)	募集数・出願数の向上等	○	・スマートフォン対応の拡大 ・LINE媒体のアプリ導入